



佐々木□□さん (17歳・蓬内台)

明桜高校2年、レスリング部所属。昨年2月の東北高等学校選抜レスリング大会では個人対抗戦92kg級で優勝。「インターハイ優勝」という目標のもと、日々練習に励みます。

相手を圧倒する試合運びで 目指すはインターハイ優勝

高校入学と同時にレスリングを始めた佐々木さん。日々の練習で着々と力をつけ、昨年2月の「東北高等学校選抜レスリング大会」では、1年生ながらも個人対抗戦92kg級で見事優勝。しかし、試合の内容には満足できなかったそうです。

「勝った試合でも相手に得点を取られたことに悔しさを感じた」
厳しく試合を振り返るのは、「全国大会(インターハイ)で優勝する」という目標を常に意識しているからです。

「全国大会で勝ち進むには力勝負で相手を圧倒しなければいけない」
佐々木さんが出場する92kg級は、様々な階級があるレスリング競技の中でも「重量級」に分類され、スピー

ドや敏捷性などが要求される軽量級と比べ、「力勝負」が特に重要とされています。そのためにも、全体練習終了後には懸垂やロープ、ダンベルを使ったトレーニングに励むなど、自分自身を厳しく追い込みます。

そんな練習熱心な佐々木さんですが、新型コロナウイルスの影響により、各種大会が延期・中止となったときは気持ちが落ち込み、「何のために練習をしているのだろう」と思うことがあったそうです。しかし、そのようなことを経験したからこそ、「目の前の試合を大事に戦う」という気持ちがより強くなりました。

それだけに、今月5日から広域五城目体育館で行われる予定だった「東北高等学校選抜レスリング大会」には特別な思いがありました。

「地元での大会ということで、とても気合いが入っていた。大会中止は仕方がないことなので、気持ちを切り替えて、夏のインターハイへ向け練習に取り組んでいくしかない」

無念の表情を浮かべながらも、前を向く佐々木さん。残された大会、そして夏のインターハイへ向け、これからも不断の努力を重ねていきます。



「圧倒」をテーマに、佐々木さん④は一戦一戦に臨みます。

五城目の冬はワンダーランド

It has now been just over 1 month since I arrived in the winter wonderland of Gojome-machi. This is the first time I have ever experienced snow and temperatures below zero.

まるで冬のワンダーランドの五城目町に来て1か月になりました。雪や氷点下の気温を体験するのは初めてです。

To start off the New Year, I made my way to the nearby Shrine where I made a short pray for the year and tried my luck with an omikujii.

新しい年になったので、近くの神社へ初詣に行き、お祈りをした後に運試しとしておみくじを引きました。

I also recently built a snowman for the first time which I found was quite hard and not as easy as the

movies make it too be.

最近、初めて雪だるまを作りましたが、映像で作り方を見たときのように簡単にはいかず、とても難しいということが分かりました。



I am looking forward to many new adventures here and across Japan. Until next time.

これからも、五城目や日本のあちこちで体験するたくさんの新しいことを楽しみにしています。

また次回お会いしましょう!

ケリーの ごじょうめ 奮闘記



Kelly Joan Morgon

ケリー・ジョアン・モルゴン
2020年12月に町の英語指導助手(ALT)に着任しました。出身地は、オーストラリアのノーザンテリトリー州のハンブティドゥーという町です。得意なスポーツはネットボール/よろしくお祈りします(≧▽≦)

がんばる!ヤング

若者の元気は町の元気!
若さ・活動力などが
高校生や大学生を
紹介します!

01

税についての作文 受賞作品の紹介

町納税貯蓄組合連合会会長賞
受賞作品

納税で広い心を

五城目第一中学校3年
野里 怜さん(大川)

これを見て、私は初めて「バリアフリー」の本来の意味を理解した。次に、「では、学校のどんな所がバリアフリーになっているのかな?」と疑問に感じ、学校の構造に意識して探してみよう。すると、3つのバリアフリーを見つけたことができた。

1つ目は、学校の入り口から玄関までに段差や坂が全く無いということだ。このつくりのおかげで、車椅子の方やお年寄りの方、けがをしている方も、あまり負担をかけずに学校に来ることが出来る。

2つ目は、エレベーターである。これも1つ目と同様に、階段の登り降りをしなくて済むので、負担がかかることは無い。

3つ目は、障がい者用のトイレがあることだ。手すりも設置されているため、不自由なくトイレに行くことができる。

このように私たちの学校では、バリアフリーへの取り組みがしっかりとされていて素晴らしいと感じた。しかし、この設備を整えるには多額の費用が必要不可欠だ。私は、「一体誰が

どのくらい払ったのか?」という純粋な疑問を持ち始めた。それを調べるために、インターネットで調べてみた。すると、学校の設備は税金でまかなわれていることが分かった。私たち国民が納めている税金で、学校の設備に貢献できていることが嬉しく思えた。

きっと、バリアフリーの設備が進んでいる学校はそう多くはないはずだ。だからこそ、私たちが納める税金で、そういった設備を整えてもらいたいと思う。もし、バリアフリーの設備を整える学校が増えてくれたら、税金を納めた人たちも、障がいを持っている人たちも、みんながHAPPYになれるはずだ。

まだ私は学生なので、消費税しか納めることはできない。しかし、これからはしっかりと社会人となって、税を納めていきたい。障がい者の方々が気持ちよい生活を送られるように。また、差別の無い社会になることを願って。

今月号では、「令和2年度中学生の税についての作文コンクール」で町納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞した野里怜さん(五城目第一中学校3年)の作品をご紹介します。

がんばる人

(敬称略)

エコ標語コンクール

- ❖ 1年生エコ一般の部
最優秀賞 鈴木 来(五城目小1年)
- ❖ 2年生馬場目川河川浄化の部
最優秀賞 門間 翔平(五城目小2年)

第16回潟上市書道展

- 金賞 児玉 結香(五城目小3年)

小学生学年体重別柔道交流大会

- ❖ 6年生男子60kg超級
優勝 畠山 彪(五城目小6年)
- 第3回男鹿潟上南秋児童生徒書き初め展
金賞 高橋 胡春(五城目一中1年)
館岡 莉子(五城目一中1年)

第5回福祉作文コンクール

- 最優秀賞 佐藤 瞳衣(五城目一中2年)

第54回中学生の「税についての作文」

- 町納税貯蓄組合連合会会長賞
館岡 駿来(五城目一中3年)
野里 怜(五城目一中3年)